

調査研究事業報告会

6.30

sun

10:00-11:30

ゲスト

大阪公立大学大学院 文学研究科

准教授 **菅野 拓** さん

報告者

NPO法人都市デザインワークス

事務局次長 **田川 浩司** さん

NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター

代表理事 **渡辺 一馬** さん

仙台市市民活動サポートセンター

センター長 **太田 貴**

仙台市市民活動サポートセンターは、2015年から、仙台のこれからの市民社会のあり方を描き、そのあり方を支える新たな仕組み（施策）を検討・提案することを目指し、一般社団法人パーソナルサポートセンター、NPO法人都市デザインワークス、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンターとともに調査研究事業を実施してきました。

これまでの事業の報告と、ゲストを交えての事業考察をふまえ、仙台のみなさんをつくる市民社会像について考えます。



会場.. 仙台市市民活動サポートセンター
6F セミナーホール

定員30人（申込優先）
参加費無料

共創プラットフォームの

試行から

申込フォーム



どなたでも
ご参加いただけます！

NPO、行政、企業、大学など社会課題の
解決や魅力向上に取り組む多様な主体、
共創プラットフォームを機能させ社会
実走していくことに関心のある人など



サポセン
仙台市市民活動サポートセンター

調査研究事業ってなに？

「共創プラットフォーム」
試行の成果と課題

仙台の市民活動の動き

せんだい・みやぎソーシャルハブとは？

「共創プラットフォームをつくろう！」
に至った経緯と仮説

そのために必要な
施策や機能とは？

これから仙台が目指す
べき市民社会像とは？

菅野 拓 さん

臨床の社会学者。大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。博士（文学）。専門は人文地理学、都市地理学、サードセクター論、防災・復興政策。東日本大震災発災直後からパーソナルサポートセンターにて仙台市と協働し、被災者生活再建支援事業・生活困窮者自立支援事業を立ち上げ、現在は理事。



せんだい・みやぎソーシャルハブとは

まちのこれからを 「ともに考え、ともにつくる」

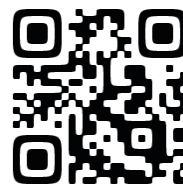
せんだい・みやぎソーシャルハブは、一人ひとりが気づいたまちの問題を取り上げ、市民・NPO・企業・行政など、さまざまな団体や人が力を合わせ、ともに解決していく場づくりをしています。一人ひとりがまちの問題を発信できる社会にしたい、楽しんで関われる場をつくりたい、そんな思いを胸に、2020年からスタートし、仙台・宮城を中心に活動しています。2030年を一つの目標とし、多セクターをつなぐ「ハブ」をめざします。

現在、「セッション（情報交換会）」、「ラボ（調査研究活動）」、「アーカイブ・ギャラリー（情報発信）」、「プロボノコーディネート」を中心に活動中です。

NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
一般社団法人パーソナルサポートセンター
NPO法人都市デザインワークス
の三団体が連携して運営しています。



せんだい・みやぎ
ソーシャルハブ



お申込・お問合せ

主催：仙台市市民活動サポートセンター
（指定管理者せんだい・みやぎNPOセンター）

お電話、メール、窓口、申込フォームにて受け付けています。

TEL：022-212-3010

Mail：sendai@sapo-sen.jp

〒980-0811 仙台市青葉区一番町 4-1-3

メールの場合は、件名を
【報告会申し込み】とし、
氏名、ご所属、ご連絡先
をお知らせください。



申込
フォー
ム

本企画は、

「マチノワ POP!UP! キュンです その出会い」の一部です。

お見逃しなく！



仙台市市民活動サポートセンター全館で、トークイベントやワークショップが行われ、市民活動団体によるブースが並ぶイベントです。

一歩踏み出したその先に、思いもよらない出会いが待っているかも？！